



みなみ風

大府南中学校
大学校だより
第356号(R2-9)
令和2年11月2日(月)

「弾けんばかりの笑顔」

大府南中学校長 青木 邦幸

今年の学校祭は、昨年度までとは異なった形で行いました。生徒会役員が中心となり、中止になったスポーツフェスティバルの内容を盛り込んで計画しました。予定では、午前中に総合的な学習の時間の発表・作品展示見学を行い、午後に学校レク・フリーステージを行う予定でしたが、10月23日(金)は、あいにくの雨天で、午前中の総合的な学習の時間の発表と展示見学のみを行い、屋外で行う行事は27日(火)に延期となりました。

総合的な学習の時間の発表は、密を避けるために、学年間の移動を行わずに発表を聞きました。1年生はグループ発表、2・3年生は、個人発表で行いました。2・3年生のグループ発表とは違った緊張感で発表する姿から、個人発表の経験をする意義を感じました。

作品展示は、例年は各学年のフロアで行っていましたが、今年は体育館に全員の作品を展示し、密を避けるために、学級ごとに作品を見学する時間を設定しました。全生徒が静かに、じっくりと作品を見学する姿から、作品展らしい雰囲気を感じました。

27日は、雲一つない秋晴れとなりました。全校レクでは、種目の数は少ないものの、活動する生徒の姿からは、全員で運動できる喜びから、楽しくて飛び跳ねているようにも感じました。フリーステージ・吹奏楽部の発表・閉会セレモニーは、中庭で行いました。見学は、中庭、各階の廊下から中庭を見下ろす形で行いました。生徒からは、「体育館とは違った臨場感がよかった」「イベント感が強く感じられ、学校祭という雰囲気が強く感じられた」「来年もこの方法はありかな」という感想が聞かれました。生徒会を中心とした「学校祭をやりたい」という強い思いが、今年の学校祭を創り上げ、生徒全員にとって素晴らしい思い出になったと感じます。

今年初めての学校行事を無事に行うことができました。生徒の弾けんばかりの笑顔を見ていると「よく頑張った」「素晴らしい」と自然と喜びを感じました。それと同時に、方法を工夫して行うことの大切さを実感しました。これも、ご家庭の協力のもと、感染症予防をしっかりと行ってきたからこそ、学校祭を行うことができたと感じます。気温が低くなりコロナウイルスの感染者が少しずつ増えているように感じます。普段通りの学校生活を送ることができるように、気を緩めることなく予防をしなければならないと強く感じます。ご家庭でもより一層のご協力をお願いいたします。

総合的な学習の時間の発表・作品展示の様子



全校レクの様子



フリーステージ・閉会セレモニーの様子



進路説明会を行いました

3年生の進路説明会を10月30日（金）に行いました。3年生の保護者のみなさまにおかれましては、機器の不具合で開始時刻が遅れてしまいましたことを改めてお詫び申し上げます。3年生にとっていよいよ本格的な進路選択の時期に入ってきました。ここ数年、私立高校の助成金制度が拡充され、公立高校との学費の差が縮まっています。また、私立高校が、独自の校風を大切にしていることと同様、公立高校も学校独自の指導方針を打ち出す学校が多くなっています。普通科の中には、国公立大学への推薦入試の合格を目指して指導をしている学校や熱心に就職指導を行い、有名企業へ毎年50名を超える生徒が就職している学校などがあります。また、専門学科に於いては、ほとんどの生徒が、指定校推薦で大学・専門学校等へ進学する学校があります。これらのことより、進路先をしっかりと調べることが大切となります。合格できる学校を選択するのではなく、高校生活3年間をどのように過ごし、高校卒業後の進路先まで見据えて進路決定をすることが大切です。